

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンFCネイチャー		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベント力。子どもが楽しめるイベントを定期的に行っている。親子行事や他事業所、地域の方たちとの交流の場としてのイベントも多く開催。集客力もあり、追加利用も多くある。	年間目標である【人と自然と交流しよう】を念頭に、いろいろな人の関わりを大事にして企画している。また、利用児童だけでなく、保護者や兄弟からも参加し家族で楽しめたり、保護者同士の交流が持てるようになることも意識している。	今年度よかったものは引き続き行い、土曜の開所も始まるので楽しめるイベントをたくさん企画していく。
2	一人一人が主役であることを大事に、スタッフが一人一人の子どもたちと丁寧に関わりが持っている。同様に、保護者の方との関わりも丁寧且つ真摯に対応を心がけており、信頼を得ている。	子どもたちが主体性を育めるよう、自立支援をしている。自己肯定感が上がる声掛けや、わかりやすい目標設定等を心がけている。送迎時や、定期的な面談、時々電話応対で保護者一人一人の方とお話を密にできるように、スタッフ全員が心がけている。	新規の子どもたちや保護者の方々とも、これまでの取り組みを継続していけるようにする。不満や苦情になる前に、何でもお声掛け頂ける雰囲気づくりを大切にしていく。
3	子どもたちが毎回通所を楽しみにし、とにかく明るく元気に利用してくれている。	子どもたちが楽しめるようなサッカー療育を行ったり、安心できる環境づくり、困ったときに相談したり解決できるような環境を用意している。利用人数に対して、スタッフ人数も充足している。	新規児童の受け入れについて、スタッフ間で情報共有や対応方法について考える。スムーズな受け入れを心がけ、安心して全ての児童が通えるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内が狭い。個別の部屋等もあるが、窮屈に感じる場面もある。	構造上の問題。民家のため、天井等も低く圧迫感がある。	適宜戶外活動を取り入れるなどして、一人一人の空間を確保する。
2	職員の配置。足りていないわけではないが、そう感じるスタッフや保護者がいる。	時間帯によっては、スタッフに負担がかかっている時間があるのかもしれない。また、保護者の方もサッカーの様子などを見学される際にそう感じているのかもしれない。	人員配置は整っているが、時間帯や業務量によっては負担がかかっている場面もあるのかもしれない。より効率的な人員配置を会社全体で検討していきたい。
3			